

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501020
事業所名	グループハウス愛

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	毎年、近所のほたる鑑賞会に誘いがある。中学生の職業体験での先生、生徒との打ち合わせや、ボランティアの人たちとの話し合いを通し、地域の認知症への理解につなげている。町内清掃に利用者・職員が参加したり、ごみ収集場の清掃を管理者が行っている。近くの飲食店や喫茶店に出かけたり、散歩でコンビニに立ち寄るなど地域とのつながりを深める取り組みをしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2か月に1度、家族・地区委員・いきいき支援センター職員・協力医・職員などが参加しホームの取り組みや業務計画の報告を行っている。協力医による認知症の講習会や民生委員から地区の高齢者の実情やボランティアの紹介、消防対策についての意見交換などを行っている。家族の立場からのいろいろな意見も得て、サービスの向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市主催の研修には職員が積極的に参加している。管理者は区が主催する認知症の市民講座に講師として参画しており、市の職員とは連絡を取り合える関係にある。常に情報交換を行い、協力関係の継続に努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	3か月に1度の介護計画作成時には、家族から意見・提案を聞き、ミーティングや申し送り共有し、会議で話し合い運営に反映させている。ホームページは月1回更新し新しい情報を発信している。ホーム便りは、今年11月から発行できるよう準備を進めている。看取りについても家族の意見をしっかり聞くことで取り組みに反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	×	○	×	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。